

文化の秋、1日限りのスペシャルトークセッション
「六本木アートカレッジ 2015」11月23日(月・祝)開催
川村元気、中村貞裕、津田大介、竹中平蔵他、多彩なインフルエンサーが贈る全22講座

森ビル株式会社が運営する「アカデミーヒルズ」(理事長 竹中平蔵)は、全22講座から好きな時間割で受講できるワンデーイベント「六本木アートカレッジ 2015」を、11月23日(月・祝)に開催します。

「六本木アートカレッジ」は、社会人向けに年間200本以上のプログラムを提供する「アカデミーヒルズ」が、ビジネスパーソンを対象に、新しい刺激に出会い興味を広げ「自分らしい感性」を磨く機会を提供しています。「1日限りのスペシャルトークセッション」として2011年からスタートし、毎回1000名の参加者を集めています。

「六本木アートカレッジ 2015」～今年のテーマは「クリエイティブ・シャワー」～

今年は、企画協力に各業界の時代を牽引する創造者たちのエージェントである株式会社 GREATOR AGENT を迎え、クリエイティブな発想に触れるパワフルな全22講座と交流パーティーをお届けします。

多ジャンルで活躍するクリエイティブなゲストの発想法をシャワーのように浴びていただき、日常では触れることの少ない考え方や思考プロセスをリアルな場で感じていただく1日です。

オープニングのトランジット代表中村貞裕×竹中平蔵による“好奇心から生まれるクリエイティビティ”をテーマにした講座や、川村元気×津田大介の「アイデアが生まれるとき」講座をはじめ、U20 ラグビー日本代表監督 中竹竜二、予防医学研究者石川善樹、女子高生起業家 椎木里佳などジャンルを超えた人たちの“クリエイティブ”な発想法のシャワーに触れ、自分に今、必要な感性を磨くイベントです。

【開催概要】

- 開催日 : 2015年11月23日(月・祝) 10:30～18:10
交流パーティー 18:45～20:00
- 場所 : アカデミーヒルズ(六本木ヒルズ森タワー49階)
- 参加費 : 4,000円(全22講座)、7,500円(交流パーティー付)
- 入場者 : 定員1000名(交流パーティー200名)
- 申込 : Webサイトにて参加申し込み受付
<http://www.academyhills.com/school/artcollege/2015/>
- 主催 : アカデミーヒルズ
- 企画協力: GREATOR AGENT
- 特別協力: 国立新美術館、サントリー美術館、森美術館
- 協力 : AIT、SUNSHINE JUICE、世界ゆるスポーツ協会、JAXA、
Discover Japan、凸版印刷株式会社、
日本ブラインドサッカー協会(五十音順)
- 協賛 : 株式会社大林組



◇本件に関する報道関係者の方のお問合せ先◇
森ビル株式会社アカデミーヒルズ事業部スクール事務局 担当:小林
Tel 03-6406-6200 Fax 03-6406-9350 E-mail: biz@academyhills.com

「六本木アートカレッジ 2015」の注目講座

【オープニング】 10:30-11:30 好奇心から生まれるクリエイティビティ～一歩先の遊び場創り

中村貞裕(㈱トランジットジェネラルオフィス代表取締役社長) / 竹中平蔵(アカデミーヒルズ理事長)

カフェ「Sign」やパンケーキで有名な「bills」、かき氷の「ICE MONSTOR」と、行列が絶えない話題店をプロデュースし、トレンドを創っている企業トランジット。そのトレンドを創りあげるための思考プロセスを、ロジカルな竹中先生との対談で紐解きます。



【エンディング】 17:30-18:30 アイデアが生まれるとき～考え抜く力～

川村元気(映画プロデューサー/作家)/津田大介(ジャーナリスト/メディア・アクティビスト)

社会現象にまでなった映画『電車男』で2005年に映画プロデューサーとしてデビューした川村元気氏。その後も様々な分野でヒットを量産する川村氏の思考プロセスとはどのようなものなのでしょうか？独自の視点で情報を発信しているジャーナリストの津田氏が、その源泉に迫ります。



11:50-12:50 魅せて、伝える！～人の直感に刺すアイデアの秘密～

軍地彩弓(編集者)

雑誌『Numéro TOKYO』のエディトリアルディレクターからドラマ「ファーストクラス」(フジテレビ系)のファッション監修まで幅広く活躍している編集者の軍地氏の思考プロセスは一体どのようなものなのでしょうか？そのプロセスとともに、それを魅力的に伝えていくアウトプットまでお話いただきます。



13:10-14:10 再生～日本の伝統に、スイッチを入れる～

矢島里佳(株式会社和える代表取締役) / 丸若裕俊(株式会社丸若屋代表取締役)

「日本の伝統文化を発信する」という共通の想いをもった二人のクリエイターが登壇。何もしなければ古くなっていく「伝統文化」を、今に伝えていくことの難しさを知っている二人が、どんなアプローチにたどり着いたのか。そのプロセスに注目します。



14:30 - 15:30 寄り道をする事～自分で自分の好奇心をくすぐる～

石川善樹(予防医学研究者)

“ダイエット”と“お笑い”。予防医学とは直接繋がりはそうではないキーワード。しかし、知りたい軸を持ちつつ、たまに突拍子もなく違う分野のことを覗きに行く「寄り道」の過程でさまざまな発見をし、プラスにしていく石川氏。その研究プロセスから、自分で自分の好奇心をくすぐるwonderポイントを探して下さい。



15:50 - 16:50 想像出来ないチームの力～真ん中にいる人は何をすべきか

中竹竜二(U20ラグビー日本代表監督)/柳澤大輔(面白法人カヤック代表取締役CEO)

いつの時代も求められるリーダーの力。リーダーのあり方は多種多様で、時代(社会の状況)により大きく変わります。より新しいコトを生み出していくことが求められている今、組織の真ん中にいる人はどのように動くべきなのでしょう。



18:45 - 20:00 交流パーティー

千原徹也(アートディレクター / グラフィックデザイナー / 株式会社れもんらいふ代表)

「六本木アートカレッジ 2015」のキービジュアルを制作して下さった、アートディレクターの千原徹也さんにお越しいただき、即興パフォーマンスやプレゼント企画など、盛り沢山。アカデミーヒルズのライブラリーカフェ(森タワー49階)で開催します。



その他、様々な分野の講座を開催！

コラボトーク

「宇宙で舞う！～飛天プロジェクト～」【JAXA presents】

石黒節子（お茶の水女子大学名誉教授）／高柳雄一（多摩六都科学館館長）

「清水寺流マネージメント～3つの極意～」【TOPPAN Presents】

森清顕（清水寺執事補 / 泰産寺住職）

「ジュースを通じて地方創世！？～人と人を繋ぐジュース～」【SUNSHINE JUICE Presents】

Nori Ko(株式会社サンシャインジュース代表)

「見えないものを撮る」【Discover Japan Presents】

宮澤正明(写真家)

パワフル女子トーク

「捉え直す事～マイナスを改善ではなく、かけ算する～」

ハヤカワ五味(ファッションデザイナー)

「これからを、つくる～女子高生起業家にきく未来への動き～」

椎木里佳(女子高生起業家)

「セルフブランディング～自分自身を利用する～」

鎌田安里紗(モデル/エシカルファッションプランナー)

「世界観をつくる打ち合わせ～お姫様の世界観でのブランド立ち上げ～」

川原あやか(お姫様プロデューサー)

体感型アクティビティ

「アナザーゴールワークショップ～プロジェクトデザインの力～」

沼田晶弘(国立大学法人東京学芸大学付属世田谷小学校教諭)

「マインドフルネスで心を調える～Googleで行われている禅の秘密～」

清水ハン英治(マインドフルネス・ファシリテーター)

「ベビーバスケット×ゾンビサッカー体験会」【世界ゆるスポーツ協会 presents】

「ブラインドサッカーミニ体験会」【日本ブラインドサッカー協会 presents】

アートトーク

「『ニキ・ド・サンファル展』ができるまで」【国立新美術館 presents】

山田由佳子(国立新美術館研究員)

「創造力のミステリー！？～アートとスピリチュアリティ入門～」【AIT presents】

ロジャー・マクドナルド(AIT副ディレクター)

「クリエイティブリユース～人の心を動かす廃材のチカラ～」【Supported by 森美術館】

大月ヒロ子(ミュージアム・エデュケーション・プランナー)

「展覧会ができるまで～久隅守景展の見どころ、ご紹介します～」【サントリー美術館 presents】

池田英美(サントリー美術館学芸員)

「六本木アートカレッジ」とは



竹中平蔵

アカデミーヒルズ理事長

今の時代を表現するキーワード、「グローバル化」そして、「ソーシャルメディア化」。この2つの現象により、国や社会、会社などの組織よりも、個人が力を持ち、個人が表舞台に立つパーソナルな時代がやってきます。パーソナルな時代に必要なことは、「自分の評価軸」、「自分の価値基準」を明確にすること、個人で判断し選択する力です。

「自分軸」を探するためには、効率や経済性以外の別の価値基準を提供する可能性を秘めているアートに関心を持つことが重要になってくるでしょう。また、アートは「ソフト・パワー」として、社会の価値や仕組みを変える大きな力へ発展もします。アートを提供する側（アーティストや企業など供給サイド）だけではなく、それに価値を見出す力を持つ個人（需要サイド）の存在も必須です。クリエイティブな視点を持つことにより自分の軸を創り、自分らしく生きる個人を育む、それが「六本木アートカレッジ」の目的です。

academyhills [アカデミーヒルズ] <http://www.academyhills.com>

森ビルは「世界的文化都心の創造」をビジョンに、街づくりに「都市を創る(ハード面)」と「都市を育む(ソフト面)」の両面から取り組んでいます。「都市を育む」取り組みの一つとして、森ビルが運営するアカデミーヒルズ(理事長竹中平蔵慶應義塾大学教授)は“自律的に自立する個人の支援”をミッションに、「Roppongi BIZ」「アーテリジェントスクール」などを運営する「スクール事業」、会員制図書館を運営する「ライブラリー事業」、貸ホール・貸会議室を運営する「フォーラム事業」の3つの機能を軸に、都市生活者に対して「知的活動の場」と「教育の機会」を提供しています。

▽六本木スクール一般問合せ〒106-6149 港区六本木6-10-1 六本木ヒルズ森タワー49F
TEL:03-6406-6200/受付時間:10:00-18:30(土・日・祝・年末年始を除く) FAX:03-6406-9350

QREATOR AGENT 株式会社QREATOR AGENT
[クリエイターエージェント] <http://qreatoragent.jp/>

経営者や教授、研究者、デザイナー、職人など多ジャンルの“ぶっとんだ創造者”を、QREATOR [クリエイター]と定義付け、彼らの活動をお手伝いする総合営業代理店。

企業理念は「人」。ミッションは「QREATORとともにもっと世界を楽しくする。」

本社:東京都港区南青山 3-2-2 代表取締役:佐藤詳悟

【参考】六本木アートカレッジ」開催状況

2011年からスタートした六本木アートカレッジは、過去に中田英寿氏、池上彰氏、篠山紀信氏、坂本龍一氏など、多彩なゲストが登壇し、30代のビジネスパーソンを中心に、多くの参加者様にお楽しみいただいています。

六本木アートカレッジ参加者属性（2014年度）

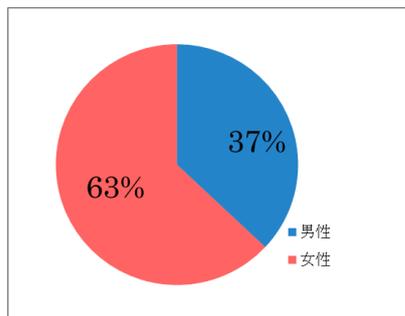
- 参加者の6割以上が女性
- 20代、30代が約6割を占める
- ビジネスパーソンが8割以上締める

＜昨年来場者様の声＞

「日頃関心のあったテーマを1日でまとめてアップデートできた。」

「テクノロジー系から文化プロダクトデザインと多くの分野の講義がきけ、非常に有意義だった。」

「知らないことを沢山知る面白さに加えて未来をちょっと面白く想像するキッカケになった。」



これまでの開催実績

六本木アートカレッジ（ワンデーカレッジ）Vol.1 ～アートってこういうことだったのか！～

開催日：2011年11月23日（木・祝）

【主な登壇者】

- ・伊勢谷友介（俳優/監督/Rebirth Project 代表）
- ・中田英寿（一般財団法人 TAKE ACTION FOUNDATION 代表理事）
- ・会田 誠（美術家） ・猪子寿之（チームラボ代表） 他



六本木アートカレッジ（ワンデーカレッジ）Vol.2 ～アートでエネルギーチャージ！～

開催日：2012年10月8日（月・祝）

【主な登壇者】

- ・生駒芳子（ファッション・ジャーナリスト）
- ・大宮エリー（作家・脚本家・映画監督） ・篠山紀信氏（写真家）、
- ・横尾忠則（美術家） 他



六本木アートカレッジ（ワンデーカレッジ）Vol.3 ～おもしろい未来がやってくる！～

開催日：2013年11月24日（日）

【主な登壇者】

- ・谷川俊太郎（詩人） ・青窈（歌手） ・阿川佐和子（作家・エッセイスト）
- ・水野学（クリエイティブディレクター/good design company 代表取締役/
慶應義塾大学特別招聘准教授）
- ・真鍋大度（メディア・アーティスト） 他



六本木アートカレッジ（ワンデーカレッジ）Vol.4 ～「つなぐ、みんなの『！』」～

開催日：2014年11月24日（月・祝）

【主な登壇者】

- ・猪子寿之（チームラボ代表） ・いとうせいこう（作家・クリエイター）
- ・為末 大（元陸上選手） ・箭内道彦（クリエイティブディレクター）
- ・津田大介（ジャーナリスト/メディア・アクティビスト） ・山口晃（画家） 他

